

# 飯塚 神功皇后伝説めぐりマップ






① **うみはちまんぐう 宇美八幡宮**

神功皇后が三韓出兵からの帰途に神功天皇をご出産された聖地。境内には「産湯の水」や神功皇后を祀った聖母宮などがある。





② **たいそくぐう 太祖宮** **あやすぎ 綾杉**

神功皇后が三韓出兵の際に、若杉山頂の太祖宮で祈願をし、御神木を手折り鎧の袖にさして御守にした。凱旋後、この枝を香椎宮に植えたのが香椎の綾杉であり、明神加護のお礼に枝分けして植えたのが若杉山の綾杉である。


③ **ごえ ショウケ越**

ショウケとは竹で編んだザルの一種、箆箆(そうけ)が訛ったもので、神功皇后が宇美八幡宮で神功天皇を産後、ショウケの籠に入れて峠を越え、大分(だいぶん)に至ったことから「ショウケ越」と云うようになった。



④ **こしかけし 腰掛石**

神功皇后が「ショウケ越」で峠を越えるときに、この石に腰を掛けて休憩したと伝えられており、通称「腰掛石」と呼ばれている。横の石碑には「神功皇后御遺跡之碑」とある。




⑤ **だいぶんはちまんぐう 大分八幡宮**

菅崎宮の元宮といわれている大分八幡宮の境内には、神功皇后ゆかりの大楠と神功天皇の産湯の井戸がある。




⑥ **づか うぐいす塚**

神功皇后がここで軍勢を解散し、それぞれの故郷に帰らせた。以来この地を「大分(おおわけ)」と呼んだのが「大分(だいぶん)」の地名の起りであるという。




⑦ **つばきはちまんぐう 椿八幡宮**

神功皇后が都に帰る途中立ち寄り、堅い木で作った剣の鏢を奉納し、日本の平和と繁栄を祈願したとされている。





⑧ **のうそはちまんぐう 曩祖八幡宮**

神功皇后が三韓出兵からの帰途、長年付き従った九州の臣たちと別れを惜しみ「またいつか逢いましょう」と口々に言い、この「いひつか」が「飯塚」の地名の由来の一つであると伝えられている。



⑨ **げきこじんじや 撃鼓神社**

上宮の鼓打権現と下宮の笛吹権現は神功皇后が三韓出兵の際の神楽奉納で、囃子の太鼓・笛を指導した神といわれている。また、都に帰る途中に立ち寄り、白旗八流を納め奉斎され、下宮の横にある池の水を汲み授乳の祈願をされて以来「乳の池」と呼ばれている。


⑩ **ひわかじんじや 日若神社**

神功皇后が都に帰る途中ここを通り、霊泉の立派なことに感激され、皇子とともに息災延命を祈願し禊をした霊場とされている。神功皇后がこの地は「ただならぬところ」と言ったことから多田という地名になったという。





⑪ **つなわきはちまんぐう 綱分八幡宮**

神功皇后が安産のおまじないとして産綱を分けてお祀りしたことから、その土地を「綱分」と呼び綱分八幡宮と名付けられた。




⑫ **いなつきはちまんぐう 稲築八幡宮**

神功皇后が都に帰る途中に立ち寄ったとき、急なことで座布団が間に合わず稲束を敷いてお迎えした。その稲を一束埋めて祀ったのが稲築八幡宮の起りであり、稲築の地名の由来になっている。



⑬ **いでびきじんじや 射手引神社**

神功皇后が羽白熊鷹征伐で困難な戦いの中、貴船宮の森に隠れ神々の御加護を祈ると、手力雄命が射手を率いて現れ貴船の神々と共に神功皇后の戦いを手助けした。その後、射手力大明神を祀る神社と称し、射手引神社と呼ばれるようになった。



⑭ **えぼしいわ 烏帽子岩**

大根地神社参道沿いの朱塗りの鳥居の左側に「烏帽子岩」が鎮座しており、「神功皇后羽白熊鷹征伐指揮の地」と記してある。



⑮ **おおねちじんじや 大根地神社**

神功皇后が羽白熊鷹を征伐する際に登山し、天神7代、地神5代を祭って勝利を祈願したのが始まりとされている。



⑯ **かまどじんじや 竈門神社** **かまどいわ 竈門岩**

神功皇后が三韓出兵の際に宝満山に登り、再会を誓ったという「サイカチの木」が境内にある。また、上宮に続く宝満山の八合目付近には竈門岩があり、神功天皇の産湯を沸かしたという伝説が伝えられている。



